

# コシロシタバ

*Catocala actaea* Felder & Rogenhofer

チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

全国的に生息地が狭められており、特に都市周辺部では個体数が減少している。県内では1950～1960年代にかけて採集記録があり、2005年には足羽山で採集されている。県内でも里山を中心に生息していると考えられ、今後も注視が必要である。

## 種の特徴

開張50～60mm内外。後翅は黒くて白斑がある。クヌギヤコナラ等の二次林に生息し、食草はクヌギ等。成虫は6～10月に見られる。

## 分 布

北海道～九州に分布。県内では、大野市小山、鳩ヶ湯、新田野町、勝山市杉山、坂井市加戸で古い記録があり、2005年には足羽山で採集されている。

## 生息を脅かす要因

土地造成、森林伐採等が脅威となる。県内では近年の記録は足羽山であるのみだが、クヌギ林等でライトトラップによる調査を行えば、新たな生息地が見つかる可能性がある。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、井崎（1971）、環境省（2015）、岸田（2011b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○				○	○	○

# ミヤマキシタバ

*Catocala ella* Butler

チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

ハンノキ林の減少に伴い、全国的に減少している。本県では1960年代以降記録がなく、生息情報は不足している。

## 種の特徴

開張51～61mm。前翅はわずかに緑みを帯びることが多い。後翅は濃い黄色で、中央黒帯は外縁黒帯とつながらず、翅頂紋は黄色か白くなる。ハンノキ林に生息。食草はハンノキ。成虫は年1回、7月中旬～9月下旬までみられる。

## 分 布

北海道、本州（中部以東）に分布。県内では大野市鳩ヶ湯、大谷で1940～1960年代に記録があり、最も新しいのは1961年の鳩ヶ湯での記録である。

## 生息を脅かす要因

森林伐採、河川開発が脅威となる。県内ではもともと稀な種であるようで、生息状況に関する情報が不足していることから、調査の継続が急務である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、井崎（1971）、環境省（2015）、岸田（2011b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# ヒメシロシタバ

*Catocala nagiioides* Wileman

チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

カシワ林の減少に伴い、全国的に減少しているとされる。近隣では石川県で情報不足に指定されている。県内では1994年の大野市（旧和泉村）下半原で記録があるのみで、生息に関する情報が不足している。

## 種の特徴

開張48～57mm。コシロシタバに似るが、前翅はコシロシタバより少し幅狭く、一様に暗褐色で斑紋が明瞭ではない。後翅は黒く、白い斑紋があるが、コシロシタバの斑紋より小さい。カシワを食草とし、成虫は年1回6月中旬～10月中旬までみられる。

## 分 布

北海道～九州、対馬に分布。県内では、大野市下半原での1994年の記録があるのみである。

## 生息を脅かす要因

カシワ林における土地造成、森林伐採が脅威になる。県内での生息に関する情報は不足していることから、調査の継続が望まれる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、井崎（1971）、環境省（2015）、岸田（2011b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	